

組合活動に役立つ 経営分析セミナー

セミナーのポイント・特徴

- ・労使交渉・労使協議の際に求められる自社経営状況を正確に把握、分析する力が養えます。
- ・経営、財務諸表などを初めて学ぶ方にも対応したわかりやすいプログラム内容で、演習を交えながら基礎力、実践力が養えます。

I. 会社の数字を理解する

1. 儲けの仕組み
2. 貸借対照表(B/S)と損益計算書(P/L)の理解と基本的な読み方のコツ

II. 会社の安全性・収益性とは

1. 良い会社の貸借対照表とは－安全性指標を良い会社と悪い会社で比較
2. 代表的な収益性指標の意味や見方
3. 財務会計と管理会計の違い－労使における管理会計の重要性
4. 損益分岐点分析の手法(変動費と固定費、限界利益・損益分岐点の仕組み)

[演習]

- ・安全性指標(流動比率、固定比率、固定長期適合率、自己資本比率など)を計算する。
- ・収益性指標(総資本経常利益率、売上高経常利益率、総資本回転率など)を計算する。
- ・損益分岐点(限界利益、損益分岐点売上高、損益分岐点売上高比率など)を計算する。

III. 会社の生産性とは

～適正な労働分配にむけて
－「付加価値生産性」の基本的な考え方と「賃金支払能力」の分析に役立つ財務指標の読み方

1. 付加価値の意味と計算方法(加算法と控除法)
2. 付加価値率(売上との関係)とは(川上産業と川下産業の違いなど)
3. 適正な付加価値の分配にむけて－労働分配率の意味
－1人当たり付加価値額(労働生産性)と賃金(人件費)との関係
4. 人件費の計算(有価証券報告書からの算出方法)

[演習]

- ・有価証券報告書から総額人件費、従業員一人当り人件費を算定する。
- ・有価証券報告書から付加価値額、付加価値率、労働生産性、労働分配率を算定する。

IV. キャッシュ・フロー経営

1. キャッシュ・フロー計算書の構成と見方

1. 開催日：平成30年12月4日(火) 9:30～16:30

2. 会場：群馬県勤労福祉センター 第4会議室(2F)

3. 講師：檜作 昌史 氏(日本生産性本部 主任経営コンサルタント)

4. 対象：労働組合役員の皆様など

5. 受講料：会員 8,000円 一般 11,000円

6. 締め切り：平成30年11月27日 ※期限後はお問い合わせください



講師略歴 檜作 昌史 氏

公益財団法人 日本生産性本部 主任経営コンサルタント

1963年生まれ。神戸大学法学部卒。旧都市銀行の出身。銀行員時代はM&A業務のほか営業部長として企業の課題解決をサポートしてきた。2007年に日本生産性本部の「経営コンサルタント養成講座」を経て、現在は企業経営の改革・推進を手助けするために日本全国を飛び回っている。そのスタイルは、数字にこだわり現場で共に考え行動するコンサルティングを信条とする。研修・セミナー講師ではその分かりやすい内容に定評があり、特に中小企業の改革プロジェクトの一環としての企業内研修など数々の採用実績がある。

【講師メッセージ】

「速い」「大きい」「予測困難」、この3つが今日的な環境変化の特徴ではないだろうか。

企業が環境変化に適応して生き残るためには、変革とスピードが必要である。変革はある日突然に神風のようにやってくるものではない。それは地道で継続的な活動や思考から生み出すものだと思う。そして、その地道な活動にはマネジメントと実行する人が重要な要素となる。言い換えればPDCAサイクルを速く確実に回す仕組みと現場の人材である。

組織は、やるべきことを決めて最後までやりきる。当たり前のことを愚直に実行しながら常に変化に対し適応する。私は、変革活動やマネジメントの仕組みづくりとその運用、並びに人材育成をサポートする。現場で共に考え、汗を流し、企業とそこで働く人々の幸せに貢献するコンサルタントでありたい。



組合活動に役立つ経営分析セミナー【受講申込書】

■ FAX:027-289-0038又はE-mail:gpc@vi.sunfield.ne.jpにてお申し込みください ■

組織名			
所在地		〒	
TEL		FAX	
E-mail			
会員区分		1. 一般 2. 生産性本部会員 3. その他 (Oで囲んでください)	
派遣ご担当者 お名前		ご所属/役職	
備考			
参加者	お名前	所属	
	お名前	所属	
	お名前	所属	